

わかりやすい 予算書

犬山市の令和3年度予算と主な事業



今年はどうな事をするの？
犬山市の借金や貯金は大丈夫？

今年の予算・・・

解説します！

わかりやすい予算書

犬山市の令和3年度予算と主な事業

基礎知識

まずは、予算について知りましょう！ 1 ページ

- Q そもそも、予算って何ですか？
- Q 予算は、誰がどうやって決めるの？

令和3年度の予算

令和3年度予算を見てみよう！ 2 ページ

- Q 令和3年度予算はいくらですか？
- Q 新型コロナウイルス感染症によって予算に影響はありましたか？
 - となりの市・町を見てみよう！

一般会計の歳入予算を見てみよう！ 4 ページ

- Q どんな収入がありますか？
- Q 市税は増えていますか？減っていますか？
 - 市税の内訳を見てみよう！

一般会計の歳出予算を見てみよう！ 6 ページ

- Q どんな支出がありますか？
- Q 去年と比べて変わったのはどんな費用ですか？
 - 「性質」で分けてみた！

市民1人当たりの予算 8 ページ

- Q 予算は、市民1人当たりになるとどれくらいですか？
 - となりの市・町を見てみよう！

家計簿を見てみよう！ 9 ページ

貯金と借金を見てみよう！ 10 ページ

- Q 貯金はいくらありますか？
- Q 貯金は、いつ何に使うの？
- Q 借金残高はどれくらいありますか？
- Q こんなにも借金があって大丈夫なの？
- Q なぜ借金するの？

令和3年度の事業

令和3年度の主な事業 12 ページ

本書において、令和3年度の一般会計予算については、当初予算と同時に成立した第1号補正後の予算額を記載しています。令和3年度の一般会計以外の会計と令和2年度予算については当初予算額を記載しています。

また、表示単位未満を四捨五入していますので、合計が整合しない場合があります。

なお、記載内容は令和3年3月時点のものであり、今後、各制度などが変更される場合があります。

まずは、予算について知りましょう！

Q そもそも、予算って何ですか？

A 1年間に必要なお金の『収入と支出の計画』のことです。

市では、防災対策や福祉、教育、ごみ処理、消防活動、道路整備、観光振興など、様々な行政サービスを提供しています。予算は、行政サービスを行うのに必要なお金の1年間の収支計画のことです。

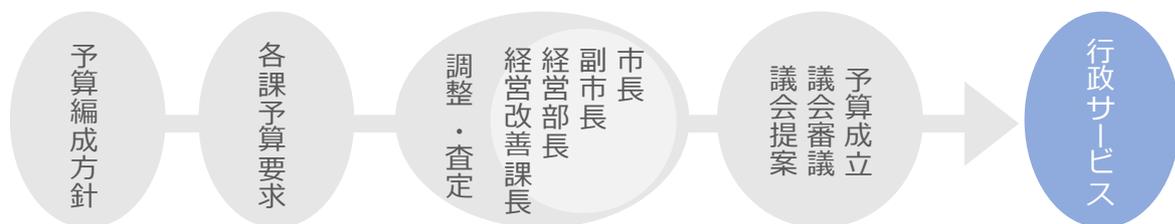
Q 予算は、誰がどうやって決めるの？

A 市長が予算編成方針を決め、それに基づき予算案を作ります。 その予算案を市議会で審議し、議決されると予算が決まります。

まず、市民の皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、市長が「予算編成方針」を決めます。

次に、市民の皆さんが納める税金がどれくらいか、そのお金でどんな行政サービスを実施するか、段階を踏んで検討し、予算案ができます。

予算案は、市議会において審議され、議決をされると、予算が成立します。



調整・査定
こんな視点で
見えています！



いつ、なにを、どうやって実施するの？
どれくらいの市民の役に立つの？
もっと安くできる方法はない？

経常的経費

継続して実施している
行政サービスを維持するための経費

金額の増減

今までと何か変わるの？
過去の実績と比べて、過不足はない？
もっと合理化や効率化はできない？

政策的経費

新しく始める事業、
大きく拡充する事業、
市の方向性を左右する事業の経費

緊急性・経済性・将来負担

すぐにやる必要があるの？
実施するためのお金はあるの？
将来的な負担はどうなるの？

令和3年度予算を見てみよう！

Q 令和3年度予算はいくらですか？

A 総額447億7,958万円です。

日常生活に身近な行政サービスを行う「一般会計」が57.4%と、全体の半分以上の割合を占めています。

企業会計

50億4,305万円 11.3%

民間企業のように、事業から得た収益で運営する会計



木曾川うかい事業費特別会計
5,931万円

犬山城費特別会計
2億946万円



特別会計

140億2,114万円 31.3%

国民健康保険税などの特定の収入があり、特定の目的を行う会計



下水道事業会計
31億8,266万円

水道事業会計
18億6,039万円

後期高齢者医療特別会計
14億5,291万円

介護保険特別会計
53億7,573万円

国民健康保険特別会計
69億2,374万円



一般会計

257億1,539万円 57.4%

市税などを財源に、福祉・教育・道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計



総額
447億7,958万円

Q 新型コロナウイルス感染症によって予算に影響はありましたか？

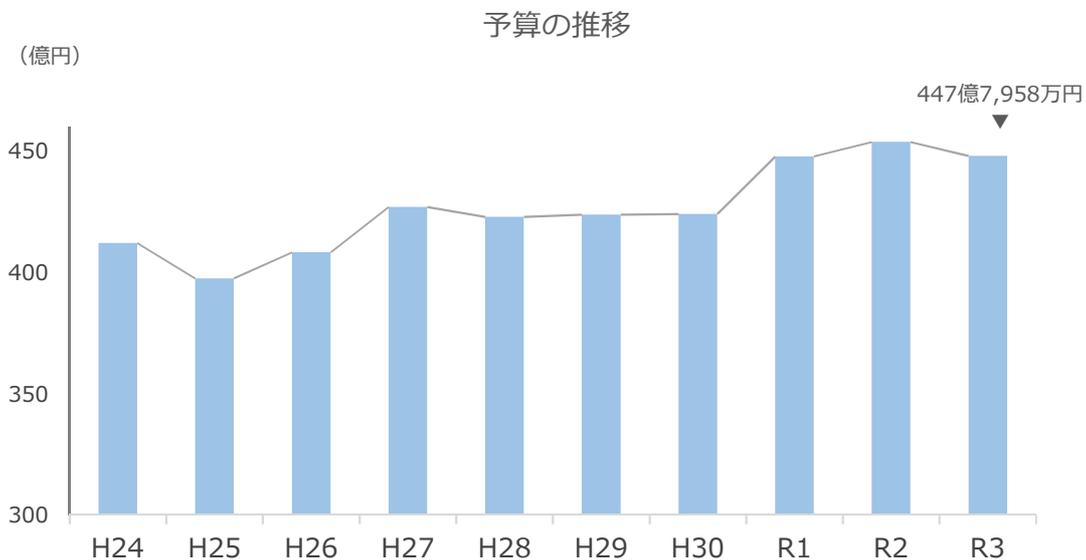
A 新型コロナウイルス感染症の影響による市税の減収を見込んだことなどにより、予算は前年度から5億7,064万円減少しました。

新型コロナウイルス感染症による経済の停滞により、予算総額は5年ぶりに減少しました。

市税は前年度から10億9,984万円の大幅な減少を見込むなど限られた財源の中で、市民生活への影響が出ないように経常的な事業費を確保したうえで、新たな事業展開や都市計画道路の整備などにも重点的に予算を配分しました。

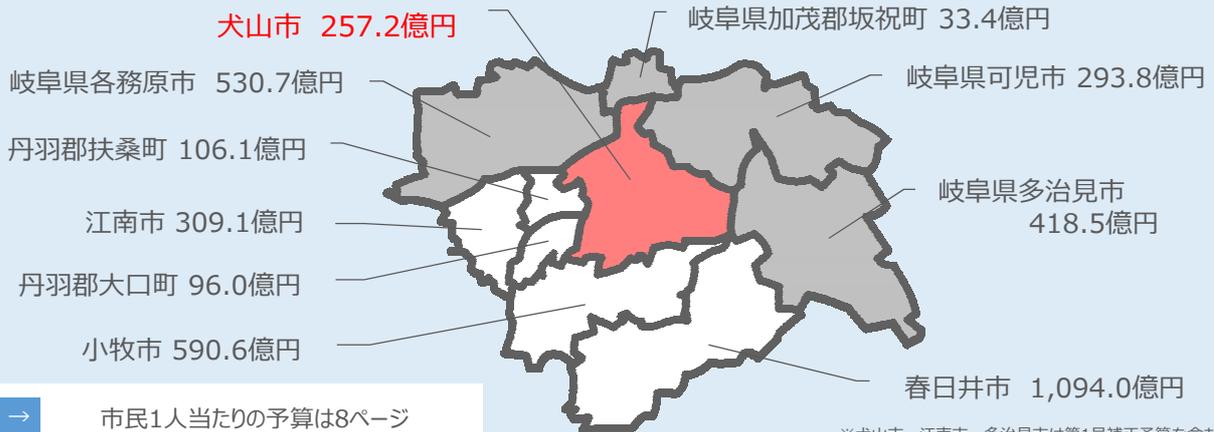
また、当初予算の成立と同時に第1号補正予算として救急隊用感染防止装備の購入やプレミアム商品券事業など2億9,172万円の新型コロナウイルス感染症対策のほか、羽黒前原台線整備工事や通学路安全対策工事で7,999万円を計上しました。

今後も感染症の拡大状況や経済状況、国や県の動向を注視しつつ、必要なタイミングで新型コロナウイルス感染症対策を実施するため補正予算などで対応していきます。



となりの市・町を見てみよう！

予算の金額や内容は、市や町の人口や面積、地理的条件などにより様々です。一般会計を比べてみました。



→ 市民1人当たりの予算は8ページ

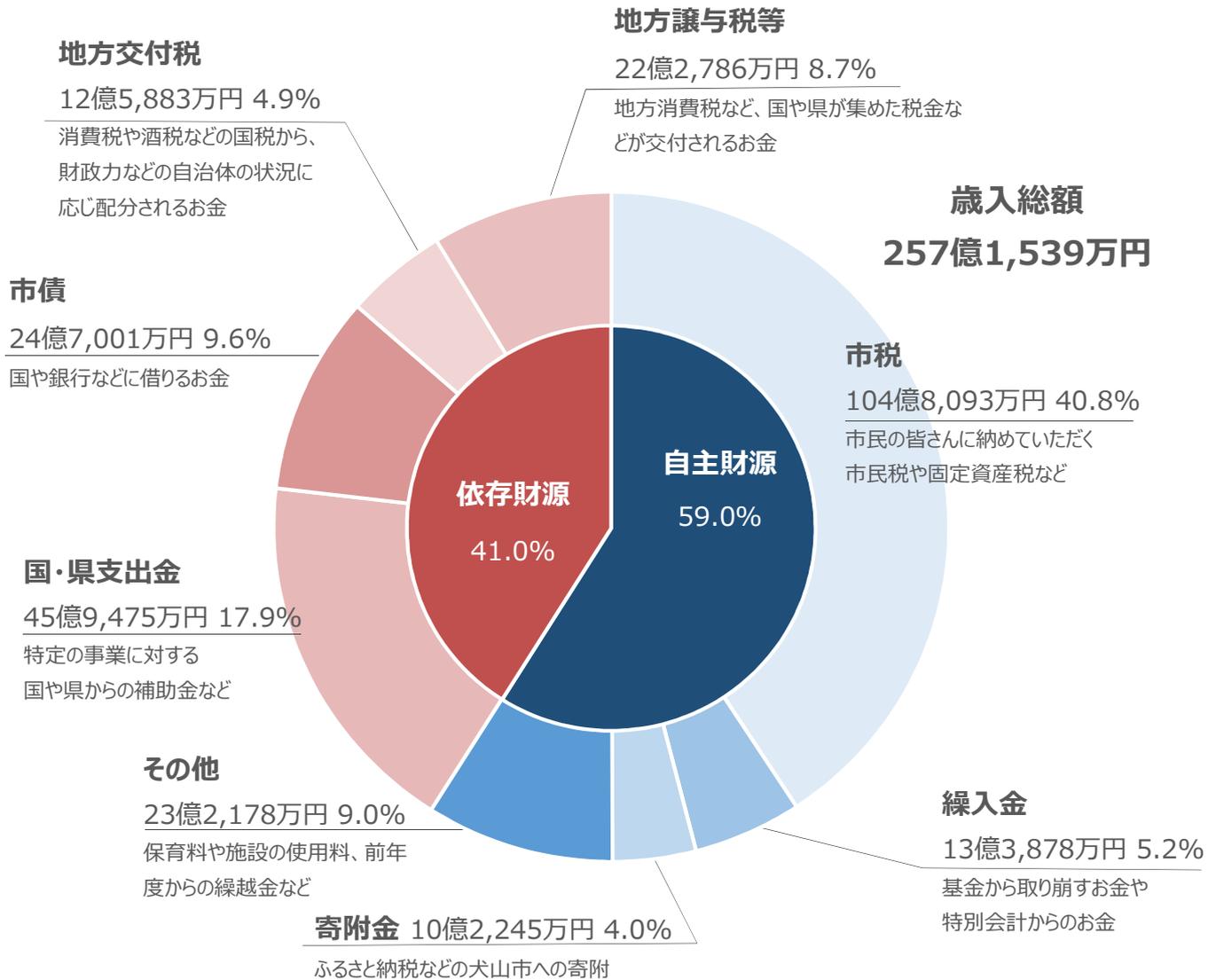
※犬山市、江南市、多治見市は第1号補正予算を含む

一般会計の歳入予算を見てみよう！

Q どんな収入がありますか？

A 最も多いのは皆さんに納めていただく【市税】です。

その他に、国や県からの補助など【国・県支出金】や、銀行などからの借入金である【市債】などがあります。



【自主財源】と【依存財源】

歳入は、市税など市が自主的に調達できる【自主財源】と、国や県が決定する【依存財源】に分けられます。

【自主財源】の割合が多いと、市が国や県に頼ることなく財政運営していると言えます。一方で、【依存財源】が多い場合も国や県の補助金をうまく活用できていることもあるため、一概に悪いとは言えません。

【依存財源】を活用しつつ、市独自の行政サービスなどを充実させるために【自主財源】を確保していくことが重要です。

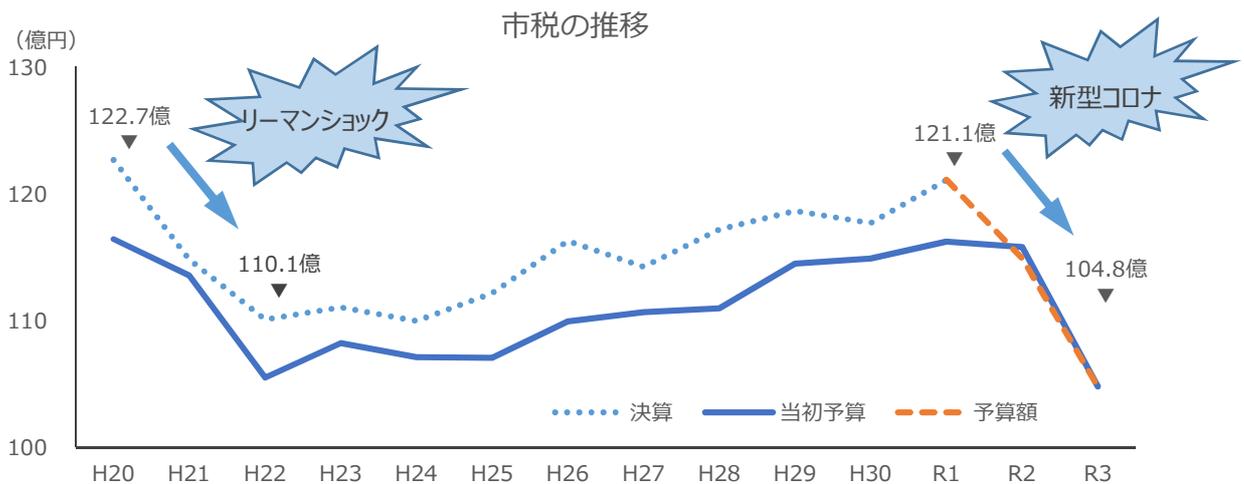


Q 市税は増えていますか？減っていますか？

A 予算は10億9,984万円減っています。

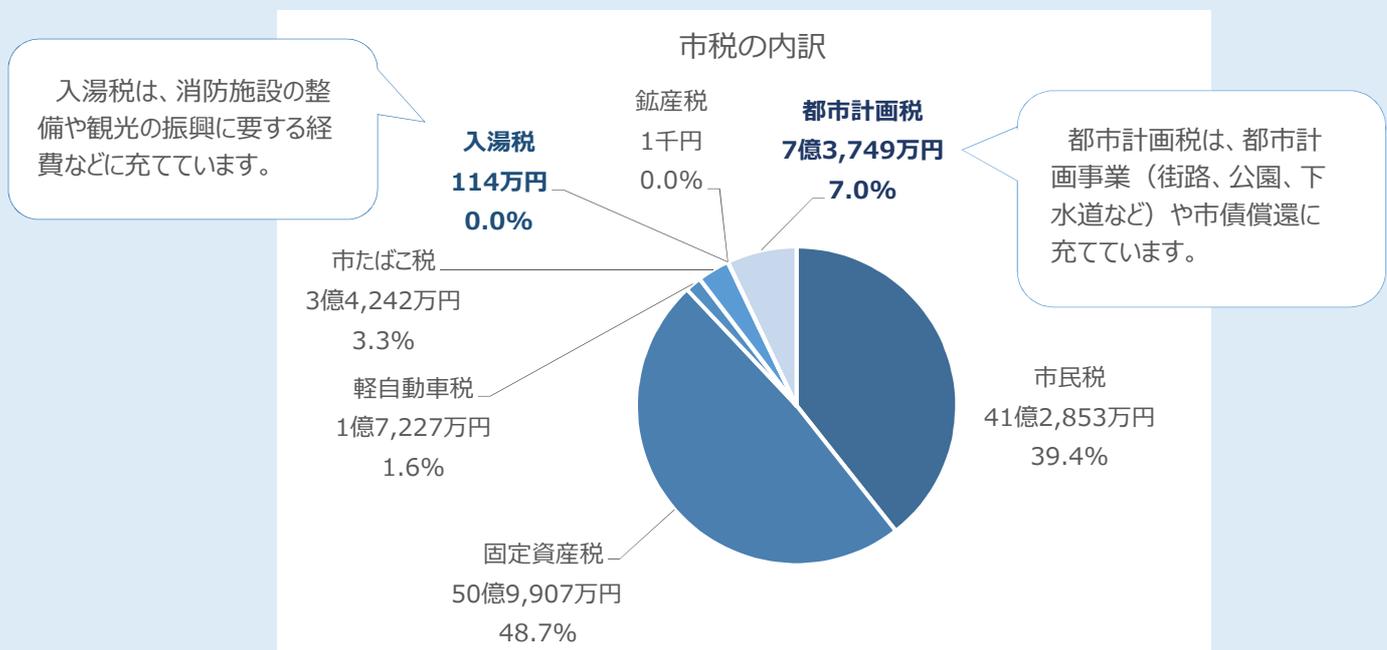
市民の皆さんに納めていただく個人市民税や固定資産税、法人市民税などの市税は、全体の約40%を占める歳入の柱であり、国や県に頼らない貴重な【自主財源】です。

市税収入は景気の影響を受け大きく変動してきました。令和元年度決算は121.1億円と平成20年度以来11年ぶりに120億円を超えましたが、令和2年度の最終予算額は114.9億円、令和3年度当初予算額では104.8億円と、2年間で16.3億円もの減少を見込んでいます。



市税の内訳を見よう！

市税は、使い道が制限されておらず自由に使用できる【普通税】と、使い道が特定されている【目的税】があります。犬山市の予算では、【入湯税】と【都市計画税】が【目的税】です。



入湯税は、消防施設の整備や観光の振興に要する経費などに充てています。

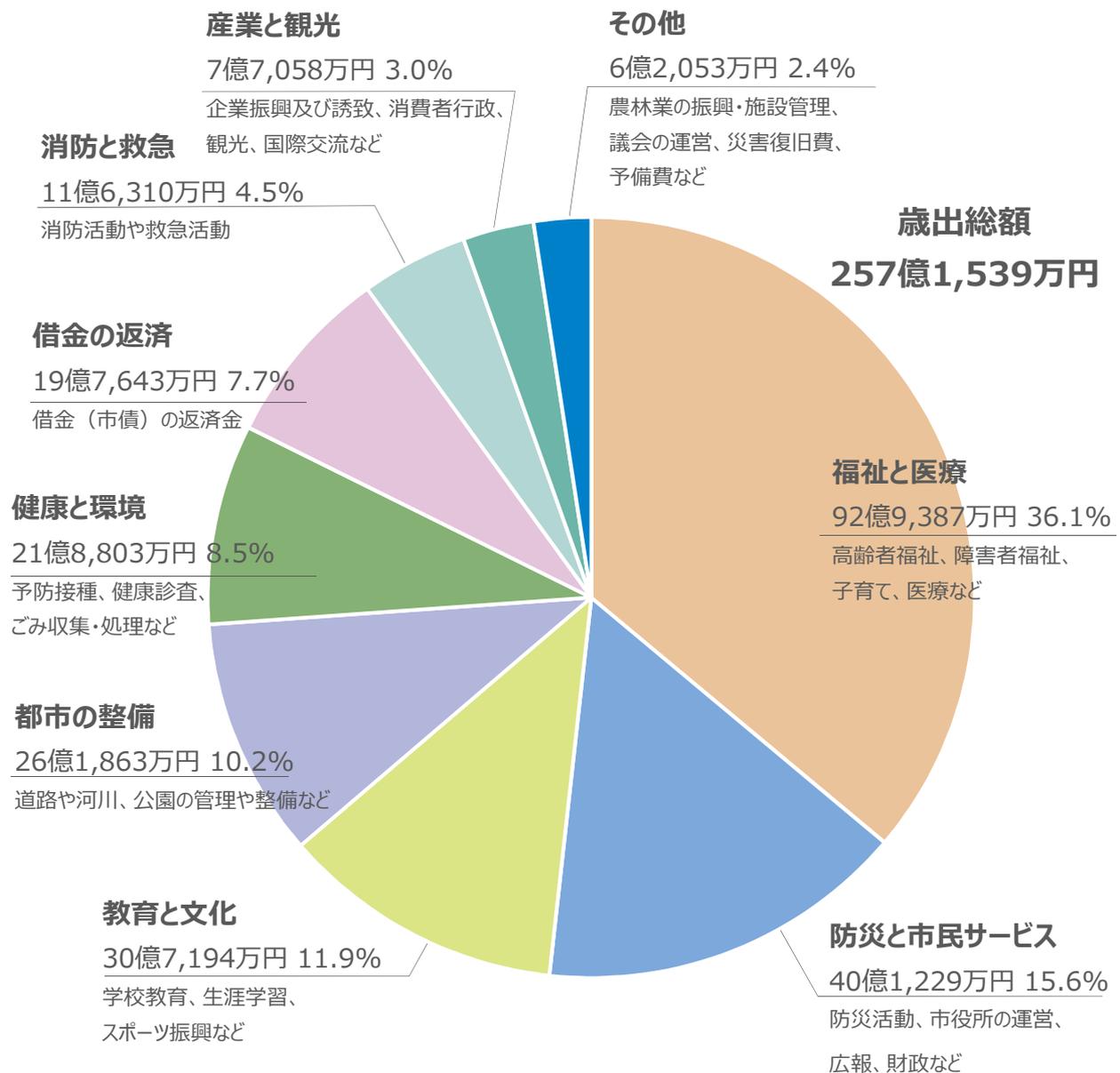
都市計画税は、都市計画事業（街路、公園、下水道など）や市債償還に充てています。

一般会計の歳出予算を見てみよう！

Q どんな支出がありますか？

A 最も多いのは、全体の3割を占める【福祉と医療】です。

【福祉と医療】は、福祉サービスや子どもの医療費無償化などの福祉施策の充実や高齢化などにより、大きな割合となっています。その他に、防災や市役所の運営などの【防災と市民サービス】、小中学校やスポーツ、文化財などの【教育や文化】などがあります。



市の歳出予算は、図のように目的に応じて区分されています。これは、市の予算がこういった目的に使われるか、だれでもわかるように決められているものです。

ここでは、予算書をよりわかりやすく解説するために、予算書では「民生費」となっているものを【福祉と医療】などに置き換えてみました。



Q 去年と比べて変わったのはどんな費用ですか？

A 【福祉と医療】、【健康と環境】などは減少しましたが、【消防と救急】など増加した費用もあります。

福祉と医療

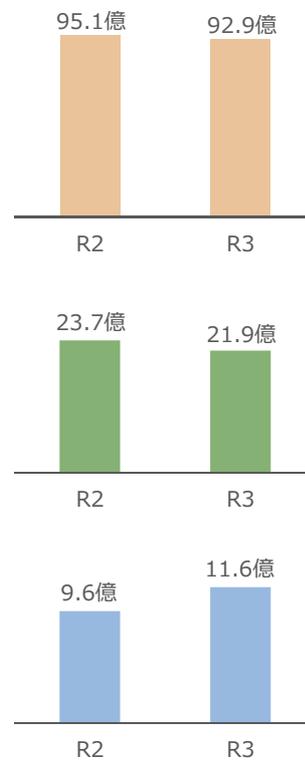
福祉と医療は、令和2年度予算に福社会館の解体（2億2,230万円）を計上していたことなどにより2億2,109万円減少しました。

健康と環境

健康と環境は、新ごみ処理施設の建設のための尾張北部環境組合への負担金や、都市美化センターの維持補修工事が減少したことなどにより1億8,079万円減少しました。

消防と救急

消防と救急は、老朽化したはしご付消防自動車の更新を行うことなどにより2億439万円増加しました。



「性質」で分けてみた！

歳出予算は性質により3つに分けることができます。

【義務的経費】はその性質上、市の裁量では削減できない経費です。この割合が大きいと、道路や学校といった公共施設の整備、市民活動や各種団体などへの補助金にお金をまわすことが難しくなってしまいます。これを【財政の硬直化】といいます。

令和3年度は、市税の減少などで財源が限られる中で、投資的経費が約2.1億円減少し、義務的経費の割合が上昇しました。

義務的経費

職員給与や福祉・医療費、市債の返済など、毎年必ず支出しなければならない経費

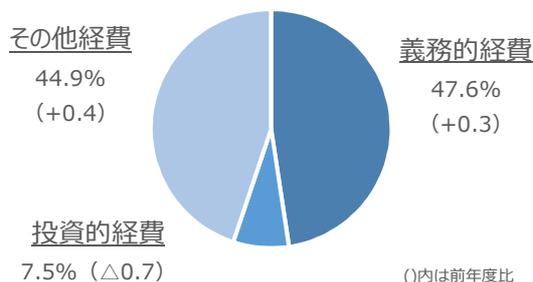
投資的経費

道路や学校などの公共施設を整備する経費

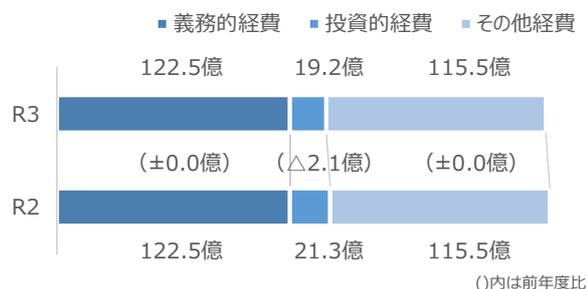
その他の経費

消耗品や備品の購入費、市民活動や各種団体への補助金など、義務的経費や投資的経費以外の経費

歳出予算の構成



歳出予算の推移



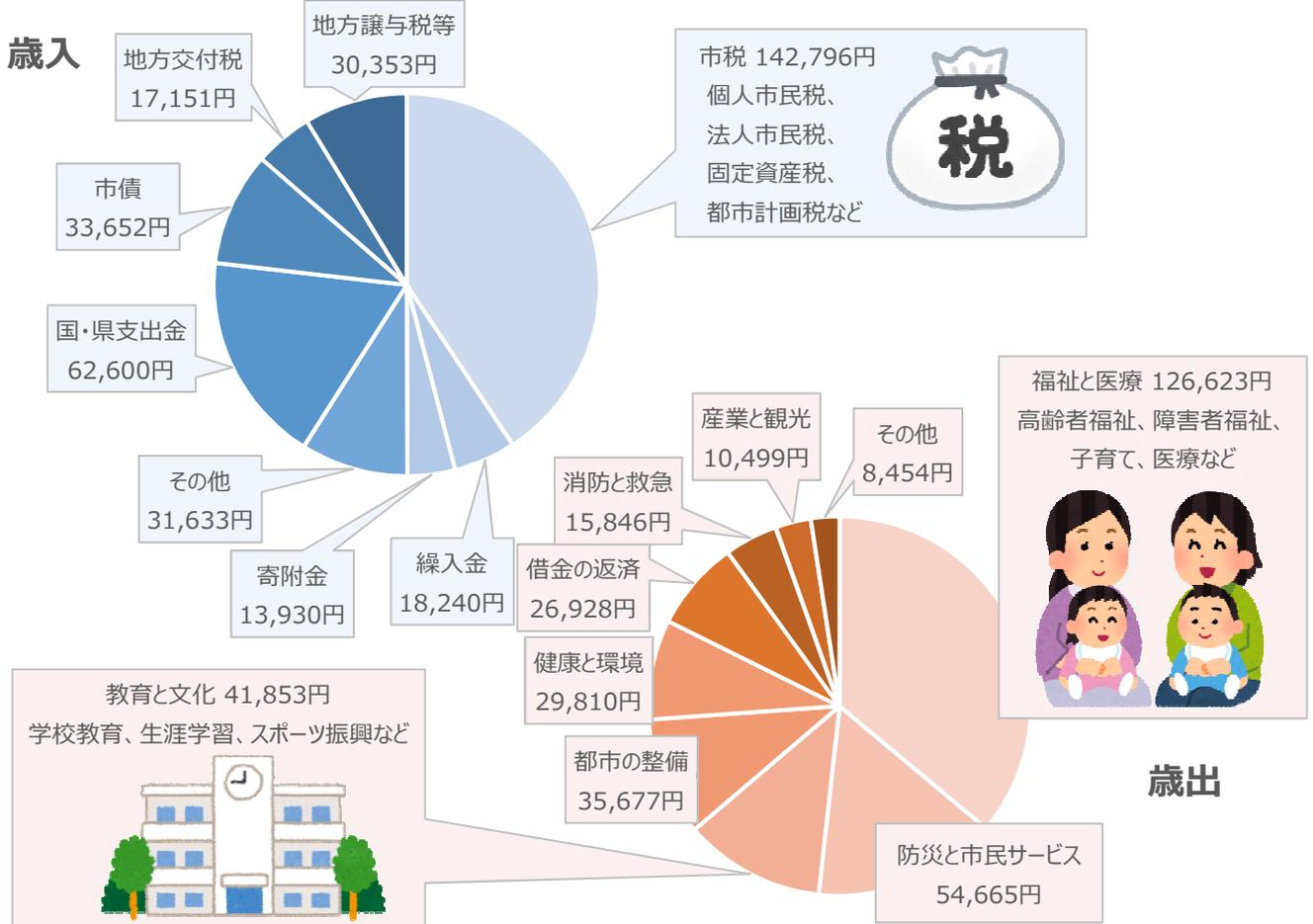
市民1人当たりの予算

Q 予算は、市民1人当たりになるとどれくらいですか？

A 一般会計は1人当たり35万355円です。

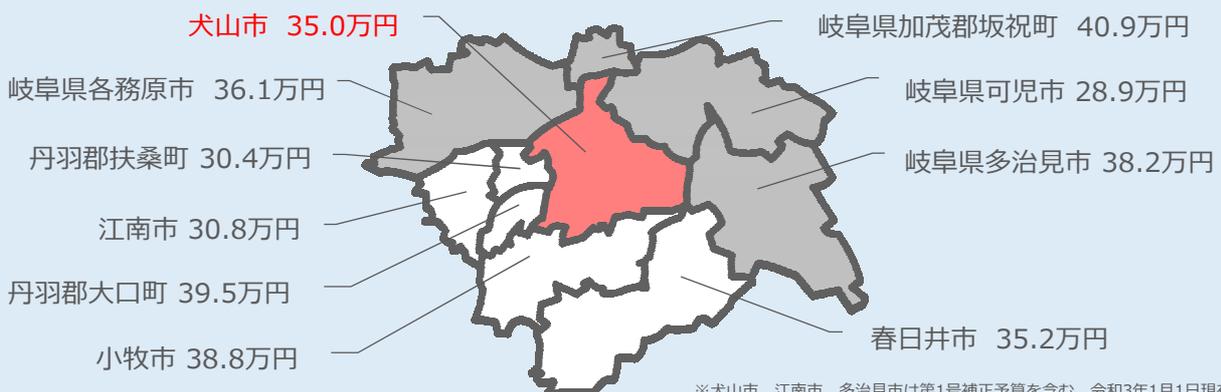
犬山市の人口は、令和3年1月1日現在で73,398人です。

令和3年度一般会計予算を市民1人当たり換算すると、35万355円となります。



となりの市・町と比べてみよう！

1人当たりの一般会計予算は約30~40万円で、犬山市はその平均くらいの金額です。



※犬山市、江南市、多治見市は第1号補正予算を含む、令和3年1月1日現在人口で算出

家計簿を見てみよう！

犬山市の一般会計予算を、1家族の家計に例えてみました。

【犬山太郎一家（6人家族）】

世帯年収 800万円（1か月あたり 約67万円）



2022年3月

収入	
お父さん、お母さんの給料 (市税、地方譲与税等、地方交付税)	362,108円
おじいさん、おばあさんの年金 (国・県支出金)	119,118円
不動産収入 (使用料、財産収入、寄附金など)	68,551円
前月からの繰越金 (繰越金)	18,147円
貯金の取り崩し (繰入金)	34,708円
銀行からの借入金 (市債)	64,035円
収入合計	666,667円

貯金	借金
前月末残高 1,264,209円	前月末残高 6,347,789円
積立て + 32,825円	借入れ + 64,035円
取崩し - 34,708円	返済 - 51,239円
貯金残高 = 1,262,326円	借金残高 = 6,360,585円

支出	
食費・被服費 (人件費)	137,213円
日用品費・光熱水費 (物件費)	133,879円
医療費・保険料 (扶助費)	129,104円
車の維持・修理費 (維持補修費)	2,074円
固定資産税や町内会費など (補助費等)	52,550円
ローンの返済 (公債費)	51,239円
貯金の積み立て (積立金)	32,825円
家具・電化製品の購入 (投資的経費)	49,813円
子どもへの仕送り (繰出金)	62,921円
その他 (予備費、投資及び出資金・貸付金)	15,049円
支出合計	666,667円

収入	支出	今月の収支
666,667円	- 666,667円	= 0円

支出では、食費や光熱水費などの毎月支払う【固定的な支出】のほか、家具などの購入や貯金の積み立てなどの【臨時的な支出】があります。

収入では、毎月決まって入ってくる給料などのほか、不動産収入などがあります。それでも不足する場合、貯金を取り崩したりローンを組んだりしてお金を工面しています。



※令和3年度一般会計予算総額を800万円とした場合の各項目の数値を掲載しています。

※家計簿項目は例であり、市の予算の項目とは内容が異なります。

※貯金及び借金の今月末残高は、令和3年度末時点の基金及び地方債の残高見込みより算出しています。

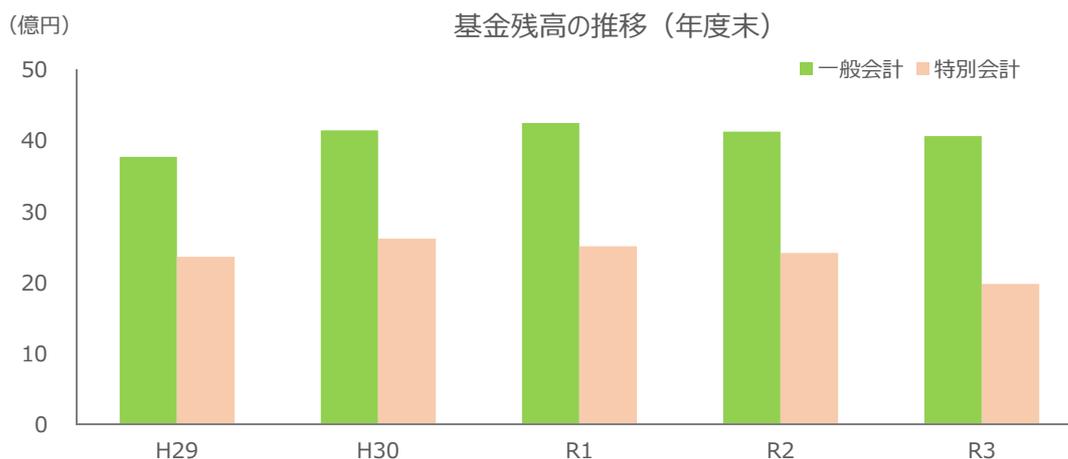
貯金と借金を見てみよう！

Q 貯金はいくらありますか？

A 令和3年度末で60億3,711万円となる見込みです。

市には現在、一般会計に19、特別会計に3の貯金（基金）があります。

基金の令和3年度末の残高は、一般会計が合計で40億5,765万円、特別会計が19億7,946万円、総額60億3,711万円となる見込みです。



※企業会計（水道事業、下水道事業）に基金はありません。

※平成29年度～令和元年度は決算、令和2年度及び令和3年度は見込み額です。

Q 貯金は、いつ何に使うの？

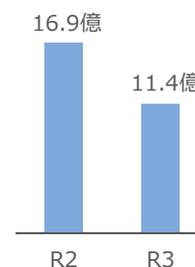
A 財源の補てんや施設の建設など、基金ごとに様々な目的があります。

一般会計の基金の一部を見てみましょう。

財政調整基金

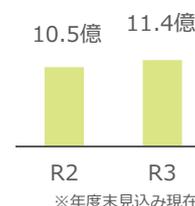
財政調整基金は決算の剰余金などを積み立てておき、財源が不足したときに補てんするために取り崩す貯金です。財政調整基金が不足すると景気の急激な変化や災害への対応が限られてしまいます。

犬山市の財政規模から14億円を目標にしていますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響などで市税が減少しており、財源不足の補てんのために5億4,359万円を取り崩す予定で、年度末の残高は11億4,177万円となる見込みです。



広域ごみ処理施設整備基金

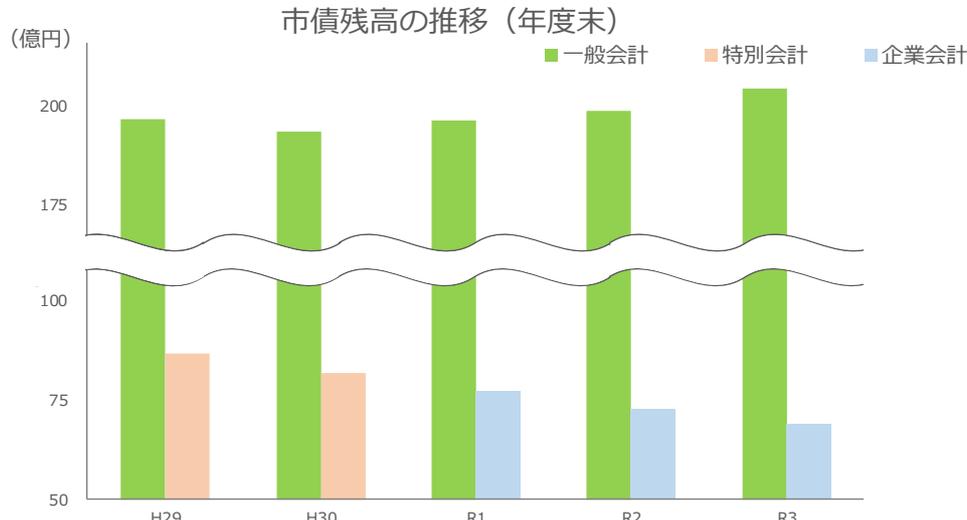
指定ごみ袋の売り上げの一部などを積み立て、新広域ごみ処理施設の整備等に充てる予定です。令和3年度は9,034万円を積み立てる予定です。



Q 借金残高はどれくらいありますか？

A 令和3年度末で273億3,467万円となる見込みです。

市の借金（市債）の年度末の残高は、一般会計が合計で204億4,562万円、企業会計が68億8,906万円、総額273億3,467万円となる見込みです。



※下水道事業が平成31年4月1日に特別会計から企業会計に移行したため、令和元年度から特別会計の市債残高はありません。
 ※平成29年度～令和元年度は決算、令和2年度及び令和3年度は見込み額です。

Q こんなにも借金があっても大丈夫なの？

A 財政指標では健全だと言えます。

今後も新しい事業について実施の必要性を見極めます。

市債残高が将来的にどれくらい市の財政を圧迫するかを示す『将来負担比率』では、イエローカード（早期健全化基準）が350.0%のところ、市は令和元年度決算で3.9%であり、健全だと言えます。しかし、一般会計の残高は令和元年度から増加に転じており、今後も学校や道路の整備などの財源として借り入れが必要なため、事業の必要性の見極めや借り入れの工夫などで、将来の負担を抑えるよう努めます。

Q なぜ借金するの？

A 財源が不足しているため、世代間負担を公平にするため、などいろいろな理由があります。

大規模事業の財源をその年度の収入だけで賄おうとすると、他の事業費を圧迫してしまいます。そのため借金をして財源を補っています。また、道路や建物は、世代を越えて何十年も利用できます。借金をしなかった場合、整備した年に市税等で負担した世代と、その後負担なく利用する世代の間で不公平が生じてしまいます。借金により将来の世代にも負担を分配し、世代間負担を公平にすることができます。

事業の財源として借りる以外に、本来は国から交付される地方交付税の一部を「臨時財政対策債」という市債で立て替える制度があり、その残高は令和3年度末で126億859万円となる見込みで、一般会計の残高の6割以上を占めます。

令和3年度の主な事業

「幸福が実感できる犬山へ前進！」

- ①子育て環境の充実による幸福感の向上
- ②市民サービス革命の加速推進による市民満足度の向上
- ③都市基盤強化による生活環境の向上
- ④賢い都市経営の推進による持続性の向上

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により市税では前年度から10億9,984万円の大幅な減少を見込むなど限られた財源の中で、市民生活への影響が出ないよう経常的な事業費を計上しつつ、今後の機動的なコロナ対策や災害対応のため財政調整基金残高を確保するなど、例年になく厳しいものとなりました。

そのような状況の中でも、上記の4点を施策の柱とした新たな事業展開や窓口サービスの質の向上、都市計画道路の整備などにも重点的に予算を配分しました。

ここでは令和3年度に取り組む事業の一部をご紹介します。

子育て環境の充実による幸福感の向上

多子・多胎世帯に対する子育て支援策を実施していきます	13 ページ
犬山南小学校校舎の大規模改修に向け設計を進めます	14 ページ
読解力向上に取り組めます	15 ページ

市民サービス革命の加速推進による市民満足度の向上

市民課と出張所の窓口を「書かなくていい窓口」にします	16 ページ
粗大ごみ戸別収集の電話受付日を拡大します	17 ページ
重度身体障害者（児）の入浴を支援する制度を創設します	18 ページ

都市基盤強化による生活環境の向上

都市計画道路富岡荒井線を整備します	19 ページ
五ヶ村排水区の排水路を整備します	20 ページ
防災重点農業用ため池の耐震化を推進します	21 ページ

賢い都市経営の推進による持続性の向上

ふるさと納税制度を活用して財源確保を推進します	22 ページ
売却に向け分庁舎を解体します	23 ページ
売却に向け犬山西公民館を解体します	24 ページ

多子・多胎世帯に対する子育て支援策を実施していきます

事業費

832万円

担当課

子ども未来課 ほか

多子・多胎世帯を対象に、経済的支援や育児負担の軽減につながる子育て支援施策を令和3年度から順次すすめていきます。



予算科目

3-2-2 ほか

目名

保育所費 ほか

特定財源

国庫補助金 34万円 県補助金 23万円

健康市民づくり基金繰入金 11万円 多子多胎家庭療育支援事業収入 11万円

事業の目的

少子化対策を踏まえ、経済的支援や育児負担の軽減などを目的とし、多子世帯、多胎世帯に対する子育て支援施策として、令和3年度以降、実施可能なものから順次すすめていきます。

具体的には、3人以上の子どもをもつ家庭や双子など多胎児をもつ世帯に対し、ライフステージに応じた様々な分野からなる子育て支援施策を一つのパッケージとしてとりまとめ、第3子以降の子が中学校を卒業するまで継続的に支援できるように進めていきます。

事業の内容

【令和3年度実施】

多胎妊婦：妊婦健診受診票の追加交付（健康推進課）

多子・多胎妊婦、多子・多胎世帯：家事援助などを行うヘルパー派遣事業（子ども未来課）

多子世帯：既存の移住・定住補助金に20万円上乗せ（都市計画課）

多子・多胎世帯：犬山産の新米10kgを年1回秋頃に提供（産業課）

市主催の各種講座等の一部の参加費等を無料化（子ども未来課ほか）

事業の効果

子育てに関する経済的支援や育児負担軽減のためのサービス提供により、出産、子育てに不安をもつ家庭や保護者の孤立化が抑制されるとともに、子どもをとりまく家庭等における生活や心理的安定により、健やかな子どもの成長へとつながります。

また、犬山に住みたい、住み続けたいという定住促進にもつながります。

犬山南小学校校舎の大規模改修に向け設計を進めます

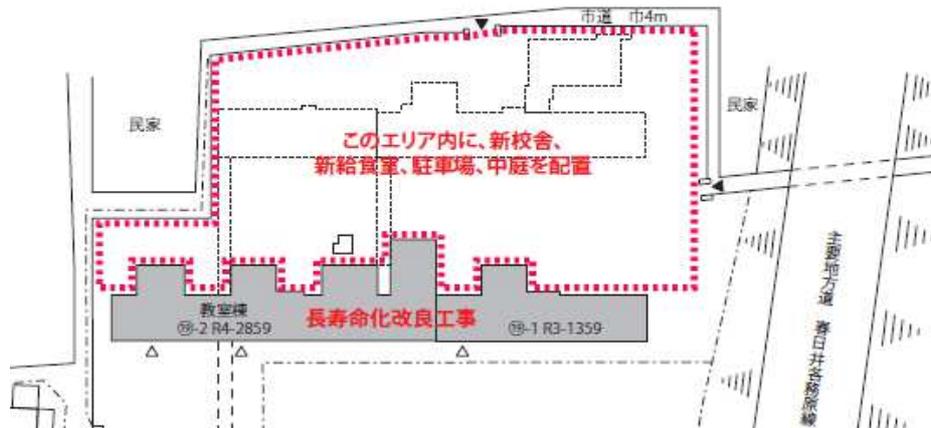
事業費

4,918万円

担当課

学校教育課

児童の教育環境の向上と、犬山南小学校区の拠点として、利用しやすい複合施設とします。



予算科目

9-2-3

目名

学校整備費

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 1,938万円 市債 2,980万円

事業の目的

犬山市の「学びの学校建築」を基本に、学習を支援する学校・子どもたちの生活を守る学校・地域の伝統や遺産を継承する学校を軸として、学校や地域との協議を大切にしながら設計や施工を進めてきます。整備内容は、北校舎（昭和33年建築）と給食室（昭和48年建築）は建替え、中庭とともに整備を行います。また、南校舎（昭和47年建築）は長寿命化改良し、学校全体の機能を改善し、よりよい環境整備を図ります。

事業の内容

- 令和元年度 校舎の耐力度調査を実施し、北校舎は建替え、南校舎は長寿命化改良の評価を受ける。【文部科学省基準】
- 令和2年度 基本構想を策定。策定後、設計委託業者を決定し、基本設計業務を実施。
- 令和3年度 基本設計策定後、実施設計業務を実施。
- 令和4年度 実施設計策定後、工事施工。

事業の効果

より良い安心安全な教育環境の施設を整備し、児童・教員・地域住民などが利用しやすい学校を整備し充実を図ります。合わせて既存の児童クラブ（子ども未来課）機能を残しながら、学校内での整備をします。

読解力向上に取り組みます

事業費

4,850万円

所管課

学校教育課・
文化スポーツ課

これからの時代を生き抜く子どもが習得すべき、感性・創造性を高めるために、読解力・論理力を磨きます。



予算科目

9-1-2 9-2-1
9-5-5

目名

事務局費 学校管理費 図書館費
(人件費を含む)

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 4,255万円

事業の目的

読解力の向上と図書館教育に関する研究体制を充実させ、読解力・読書量の向上を図り生涯にわたって自ら学び続ける感性豊かな人づくりの実現をめざします。

事業の内容

平成30年度に策定した読解力向上プログラムに基づいた事業を進めています。

「読む・書く・聞く・話す」力のそれぞれの観点で、到達目標を具体的にし、読解力を客観的に判断するために、読解力診断テスト（RST）を実施します。その結果を参考に、教員による授業改善委員会にて協議し、改善を図ります。

教育現場は、教員の多忙化解消・不登校対策などの大きな教育課題に加え、GIGAスクール構想・コミュニティスクールの設置など新たな教育課題が山積しています。これらに対応するとともに、多様化する人権教育を推進し、主要施策である読解力向上を進めるために、新た指導主事を1名追加配置します。

令和2年度からは各校の図書館教育を担う教員による読書活動推進委員会を設置するとともに、各校の読書教育への支援をする図書館コーディネーターを設置し、各校の読書量の増加を目指しています。令和3年度からは市立図書館に学校連携図書館司書を1名配置して、市立図書館と学校図書館との連携を強化し、事業の加速化を図ります。

事業の効果

各教科で「正しく読む」を達成するための実践をすることで、読解力の向上を図ることができます。

各学校が図書館教育に取り組むことで、より多くの児童生徒が図書館を活用し、多くの書籍に出会うこととなります。また、学校連携司書が各小学校を巡回し、学年ごとに読んで欲しい本やおすすめ本をブックトラックにまとめ、教室前や廊下に設置するなど、本を活用した授業を支援することで、子ども達が本の魅力を体感できるようになります。

生涯にわたって自ら学び続ける感性豊かな人づくりの実現につながります。

市民課と出張所の窓口を「書かなくていい窓口」にします

事業費

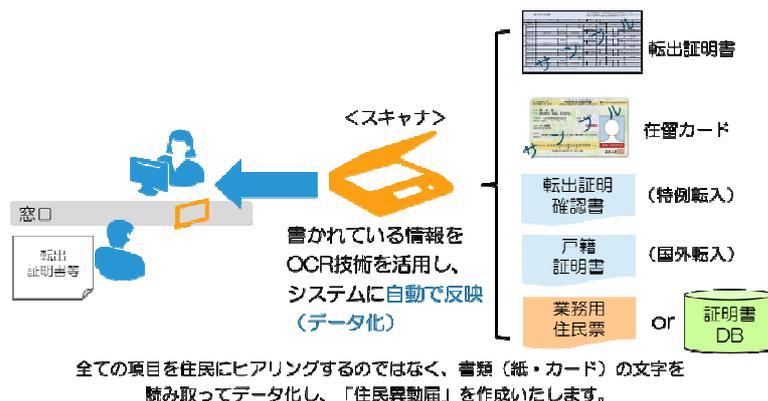
626万円

所管課

市民課・情報政策課
・総務課

証明書等の発行手続きや、住所等の異動手続きについて、新規にシステムを導入することで、申請書類の記入を不要とし、お客様が「書かなくていい窓口」にします。

住民異動手続きの一元管理



予算科目

2-3-1 ほか

目名

戸籍住民基本台帳費 ほか

特定財源

なし

事業の目的

書かなくていい窓口とすることで、来庁したお客様が迷わず・簡単に手続きができるようにします。また、インターネットにつなぐことができる番号発券機を導入することで、来庁者の分散を促し窓口の混雑を防ぐことができます。

事業の内容

市民課及び出張所窓口において、職員がシステムを使いお客様の申請書や異動届を作成することで、お客様が書かなくていい窓口にします。また、関連する手続きに必要な申請書類も同様に作成します。併せて窓口のローカウンター化や、混雑状況等を来庁前に確認できる番号発券機を導入します。

- ・番号発券機（戸籍住民基本台帳費）132万円 ・書かなくていい窓口（情報システム管理費）368万円
- ・カウンター改修（財産管理費）125万円

事業の効果

来庁したお客様の手続きの負担を軽減し、利便性を向上します。また、番号発券機は順番整理機能に留まらず、窓口の混雑状況や受付番号の照会などを離れた場所からお客様自身で確認することができます。

粗大ごみ戸別収集の電話受付日を拡大します

事業費 250万円

所管課

環境課

令和3年4月から粗大ごみ戸別収集の電話受付を土日・祝日も行います。

粗大ごみ受付センター
フリーダイヤル（無料）
0120-484-530
午前9時から午後5時まで
（12月29日から1月3日を除く。）



予算科目

4-3-2

目名

ごみ処理費

特定財源

なし

事業の目的

粗大ごみ戸別収集の電話受付を粗大ごみ受付センター（フリーダイヤル0120-484-530）で、午前9時から午後5時まで（12月29日から1月3日を除く。）行います。

事業の内容

- ①地区ごとに決められた月2回の収集日の1か月前から7日前までに、粗大ごみ受付センターに電話して、住所、町内名、氏名（世帯主名）、電話番号、粗大ごみの品名、数量を申し出てください。
- ②粗大ごみ1点につき1枚の処理券（1,000円）を市役所、出張所、コンビニエンスストア等で購入してください。
- ③処理券に氏名または受付番号と収集日を記入して、粗大ごみの見やすいところに貼ってください。
- ④粗大ごみを収集日当日の午前8時までに、ご家庭の玄関先などの敷地内で道路に近い場所に出してください。立ち合いの必要はありません。

事業の効果

粗大ごみ戸別収集の電話受付を土日・祝日（午前9時から午後5時まで。12月29日から1月3日を除く。）も行うことで、利便性を向上します。

重度身体障害者（児）の入浴を支援する制度を創設します

事業費

315万円

所管課

福祉課

重度身体障害者（児）の機械浴槽を利用した入浴を支援する制度を創設します。



予算科目

3-1-2

目名

障害者福祉費

特定財源

なし

事業の目的

家庭において入浴することが困難な重度身体障害者（児）（以下「重度身体障害者等」という。）に施設において入浴サービスを提供し、重度心身障害者等の身体の清潔を保つとともに、外出の機会を提供し、もって障害者福祉の増進を図ります。

事業の内容

障害福祉事業所に備える特殊機械浴槽を、運営時間外の空き時間を活用し、在宅で生活する重度身体障害者等の入浴の機会を確保します。実施は公募による登録事業者を予定しています。

予約した時間に家族等の支援により施設の機械浴槽で入浴します。機械操作等があるため施設職員1名が介添えます。（本人負担額：500円/回）

315万円（助成額：2,500円×35人×4回/月×9カ月）

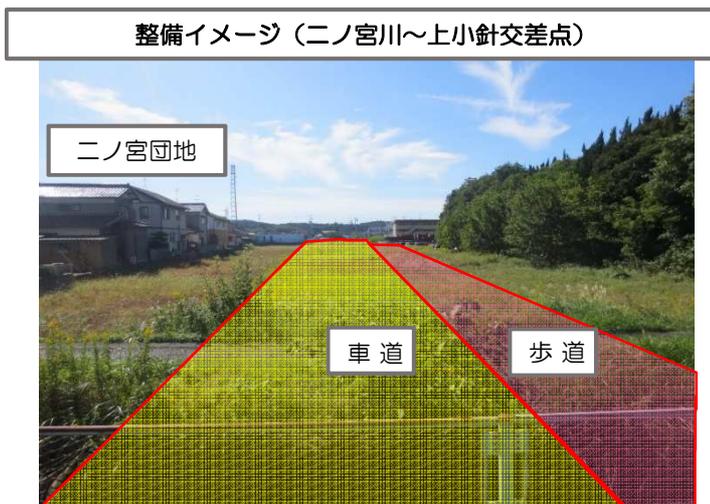
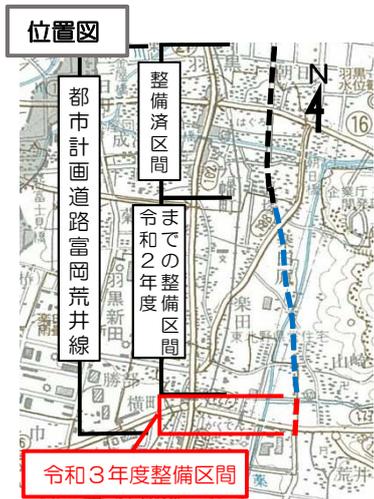
事業の効果

重度身体障害者等の入浴の機会を増やし、身体を清潔に保ち、外出の機会にもつながり、心身の健康を促進します。また、介護者の負担軽減につながります。

都市計画道路富岡荒井線を整備します

事業費	【令和2年度予算分】1億2,000万円 【令和3年度予算分】2億2,013万円	所管課	整備課
-----	--	-----	-----

市の道路網における南北軸となる幹線道路整備により、道路利用者の安全確保や渋滞緩和、消火活動困難地域を解消し、地域の発展を図ります。



予算科目	7-4-4	目名	街路事業費
特定財源	【令和2年度分】国庫補助金 5,000万円 市債 7,000万円 【令和3年度分】国庫補助金 4,428万円 県補助金 870万円		
事業の目的			ふるさと犬山応援基金繰入金 2,486万円 市債 1億4,230万円

都市計画道路富岡荒井線は犬山市を南北に縦断する幹線道路であり、北側より順次整備を進めていますが、南部の楽田地区内は未整備です。この区間の現状は、並行する県道善師野西北野線の道幅が狭く歩道もないため、朝夕の通勤通学時には自動車・自転車・歩行者が錯綜して大変危険です。また、消防車などの緊急車両の通行が困難な状況にあることから、幹線道路の整備により、道路利用者や周辺地域住民の安心・安全を確保します。

事業の内容

令和2年度までは犬山市南部高齢者活動センターから番前地内の二ノ宮川付近までの区間を継続して整備してきており、事業用地の確保がすべて完了しました。令和3年度は惣作工区の道路整備工事及び二ノ宮川の橋梁工事を進め、令和4年12月末までに上小針交差点までの開通を目指します。

事業の効果

都市計画道路富岡荒井線は市の道路網の南北軸を構成する重要な路線であるとともに、現在狭あいな県道善師野西北野線のバイパスとしての機能を有しています。そのため、幅の広い歩道や2車線の車道を整備し、自転車・歩行者の安全確保や周辺の消火活動困難地域の解消、渋滞緩和などを図ります。また、市の南北地域間におけるアクセス性が向上し、地域の発展に寄与することができます。

※この事業は、国の社会資本整備総合交付金を活用するため、経費の一部を令和2年度予算として計上し、実際の整備は令和3年度に実施します。

五ヶ村排水区の排水路を整備します

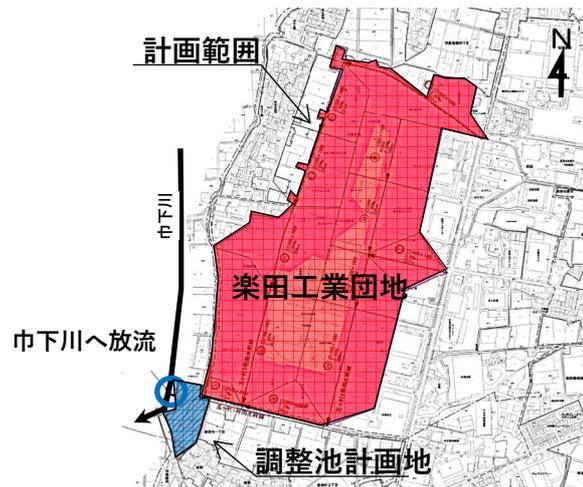
事業費

8,778万円

所管課

整備課

都市浸水被害を防ぐため、排水網の増強及び調整池の整備を行います。



予算科目

下水道事業会計

目名

雨水管路建設費

特定財源

国庫補助金 3,500万円 企業債 5,260万円

事業の目的

下水道整備計画（雨水）に基づき、特定都市下水道として計画している排水区を優先し排水網の増強や調整池を整備することで、内水被害軽減及び放流河川への負荷を軽減し、流域水害対策を推進します。

事業の内容

五ヶ村排水区下流域について、令和2年度までに基本設計及び事業計画の策定を行ったため、令和3年度は事業計画に基づき詳細設計及び調整池の用地取得を進めます。その後、調整池及び函渠の整備を進めます。

事業の効果

犬山市の下水道計画で定めている概ね5年に1回程度の降雨(52.4mm/hr)が発生した場合の都市浸水に対する安全性が確保され、災害に強いまちづくりに寄与します。

防災重点農業用ため池の耐震化を推進します

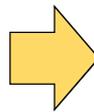
事業費	【令和2年度予算分】	1,704万円	所管課	整備課
	【令和3年度予算分】	2,078万円		

防災重点農業用ため池の安全性を確保し、安全安心な市民生活を守ります。

改修前のため池



改修後のため池



予算科目

5-1-4

目名

土地改良費

特定財源

【令和2年度予算分】 市債 1,700万円
【令和3年度予算分】 市債 1,660万円

事業の目的

近年、集中豪雨が頻発する傾向にあり、これに伴い土砂災害も増加傾向にあります。東日本大震災や集中豪雨によって、ため池決壊により尊い人命が失われるとともに、住宅や農地などでも被害が発生しており、大規模地震に備えた耐震照査と必要な整備の実施が急務となっています。

このため、犬山市においても防災重点農業用ため池について、ため池の持つ多目的な機能を保全しつつ、安全・安心な生活を築くため、耐震性が不足する池の改修を行います。

事業の内容

防災重点農業用ため池において、劣化状況、地震及び豪雨耐性の評価等を実施し、防災工事を必要とするため池については順次整備を進めてまいります。

令和3年度は、善師野南地区（奥下屋下池）、割洞第一池、塔野地南地区（橋爪池）、平谷第一池、切塞第一池、北洞南池において耐震工事等を愛知県が事業主体となって実施し、負担金を支出するものです。

事業の効果

大規模地震により、破堤の危険性があるため池において、耐震工事を実施することにより、市民の安全・安心な生活環境の確保を図るとともに、安定した営農活動の支援地域の発展に寄与します。

※この事業は、国の農村地域防災減災事業費補助金を活用するため、経費の一部を令和2年度予算として計上し、実際の整備は令和3年度に実施します。

ふるさと納税制度を活用して財源確保を推進します

事業費

4億2,205万円

所管課

経営改善課

全国からふるさと犬山応援寄附金を募り、自主財源の確保と犬山のPRを図ります。



予算科目

2-1-13

目名

ふるさと納税推進費

特定財源

ふるさと犬山応援基金積立金利子 29万円

事業の目的

ふるさと納税により、犬山市へご寄附いただいた方へ記念品を贈呈するなどして、寄附金の増加を図ることで、自主財源の確保に努めます。

また、犬山らしい事業への寄附を募る取り組みや、記念品を全国の寄附者に贈呈することで、当市や市内事業者等のPRのほか、消費を伴う産業の活性化を図ります。

事業の内容

- ふるさと納税による寄附を募るため、インターネットでの申し込み、カード決済などのキャッシュレス決済の活用、記念品（特産品やベビー用品など約300品目（令和3年1月時点）の贈呈を実施します。
- 使い道は9つ（歴史・文化、産業、子育て、福祉、教育、健康、環境、都市基盤、市長におまかせ）
- 寄附金は基金に積み立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として1～12月までの寄附を翌年度の予算に充当します。
- さらなる財源確保のため、申し込みサイトを増設（ふるなびを予定）します。

事業の効果

本事業は、平成27年9月の開始以来、毎年度、寄附金額の実績を伸ばしており、令和2年度は1月末時点で約7億1千万円であり、着実な財源確保に繋がっています。

令和3年度も申し込みサイトの拡充や効果的なPRなどを実施することで、10億1,800万円の寄附金の獲得を目指し、本市の財政負担の軽減を図ります。

売却に向け分庁舎を解体します

事業費

3,477万円

担当課

総務課

令和3年3月31日をもって閉庁する分庁舎を解体し、翌年度以降に跡地の売却を進めていきます。



予算科目

2-1-3

目名

財産管理費

特定財源

公共施設等管理基金繰入金 3,477万円

事業の目的

昭和62年、東海郵政局から取得した建物(旧犬山郵便局)を改修し、分庁舎として使用してきましたが、消防署北出張所の移転や施設全体の老朽化に伴い、今後、維持管理費の増大が見込まれることから令和3年3月31日に閉庁することとしました。これに伴い分庁舎を解体し、跡地の売却につなげます。

【敷地面積1,123.32㎡、建築面積416.03㎡、延床面積832.06㎡】

事業の内容

分庁舎の解体のための設計と解体工事を行います。

- 分庁舎解体設計監理委託料 157万円
- 分庁舎解体工事請負費 3,320万円

事業の効果

解体により、分庁舎の維持管理費が不要となります。

建物解体後の跡地は、売却を予定（令和4年度）しており、財源確保につながります。

売却に向け犬山西公民館を解体します

事業費

1,553万円

担当課

文化スポーツ課

令和3年3月31日をもって閉館する犬山西公民館を解体し、翌年度以降に跡地の売却を進めていきます。



予算科目

9-5-3

目名

公民館費

特定財源

公共施設等管理基金繰入金 1,553万円

事業の目的

昭和38年に旧職業安定所として竣工され、昭和61年7月から犬山西公民館として使用してきましたが、築57年が経過し今後維持管理費の増大が見込まれること、犬山西地区における公共施設の再配置が軌道にのったこと等から、令和3年3月31日に閉館することとなりました。(令和2年9月議会において犬山西公民館の用途廃止に係る条例可決済)

これに伴い、令和3年度に施設を解体し、令和4年度以降に土地の売却を進めていきます。

【敷地面積：945.33㎡、建築面積：197.71㎡、延床面積：313.53㎡】

事業の内容

犬山西公民館の解体工事等を行います。

- 犬山西公民館測量調査委託料 67万円
- 犬山西公民館解体工事監理業務委託料 29万円
- 犬山西公民館解体工事請負費 1,450万円
- 引越し手数料 7万円

事業の効果

解体工事の実施によって、犬山西公民館に係る維持管理費が削減となります。
解体工事終了後は、跡地を売却します。

犬山市の令和3年度予算と主な事業を見てみましたが、どのようなことに予算を使おうと計画しているのかおわかりいただけましたか？

ここで紹介したのは予算のほんの一部で 市民の皆さんに納めていただく税金や国・県からの補助金を活用し、様々な行政サービスを行っていきます。

犬山市では、当初予算に計上したすべての事業について「予算説明書」を作成し、市のホームページで公開しています。今回紹介した事業以外にも、皆さんの生活に関わる様々な事業を行っていく予定ですので、ぜひご覧ください。

本書が、犬山市が実施する事業に興味を持ってもらい、理解を深めていただくひとつのきっかけになれば幸いです。

— 犬山市の名所をご紹介します —

国宝犬山城



国宝に指定されている犬山城天守は、現存最古の天守といわれ、前期望楼型天守の特徴を備えていることで有名です。

木曾川のほとりの小高い山の上に建てられた天守最上階からの眺めはまさに絶景です。

【もっと詳しく！】

2019年～2020年にかけて実施した年輪年代法による部材の年代測定調査では、当初材とみられる柱や床梁から、1585年と1588年に伐採された木材が見つかり、部材の加工痕調査などの結果や、当時の工事期間から考慮しても、1585年～1590年頃にかけて、一階から四階までが一連で建設されたという調査結果※を発表しました。

※「国宝犬山城天守再考」

犬山市教育委員会 2021年3月発行

わかりやすい予算書

犬山市の令和3年度予算と主な事業

令和3年3月
犬山市経営部経営改善課
〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36
電 話 (0568) 44-0313
F A X (0568) 44-0360

犬山市の財政

